

米朝首脳会談後の早期具体化交渉で
北朝鮮の CVID 実現を求める

核兵器廃絶・平和建設国民会議
(略称：KAKKIN)

史上初の米朝首脳会談が、平成 30 年 6 月 12 日シンガポールで開催された。共同声明では、米国は北朝鮮に対して安全の保証を約束し、北朝鮮は朝鮮半島の完全な非核化に向けた堅固でゆるぎない決意を表明した。しかし、米国が求めた「完全かつ検証可能で不可逆的な非核化（CVID）」は盛り込まれなかった。本年 4 月 27 日の南北首脳会談板門店宣言に則った朝鮮半島の完全な非核化に取り組む、という表現にとどまり、新たな展開は確認できず、これから米朝で具体化に向けた協議を開始するとの政治ショーの色合いが濃く出た会談であった。

さらにトランプ大統領は、首脳会談終了後の記者会見で、非核化に向けた交渉が順調に進んでいる間は、米韓合同軍事演習の中止を検討することを表明した。

1992 年の米朝「朝鮮半島の非核化宣言」、1994 年の米朝「核施設廃止の枠組み合意」、2003 年の 6 カ国協議「核兵器関連の放棄」合意、2012 年の米朝合意「ウラン濃縮施設・核実験・弾道ミサイル開発の廃止」など、北朝鮮はこれまで、経済援助のみを受け取り、非核化の合意を反故にして来た。良いところ取りの北朝鮮の懸念は払拭されず、今後、強い警戒心をもって協議に臨まなければならない状況も変わっていない。

KAKKIN は、米国政府に対し、強力な経済制裁を継続する中で、首脳会談共同声明に基づく、北朝鮮の CVID の実現に向けたロードマップと検証方法の具体化協議を早急に始めることを求める。

日本政府に対しては、この機会を見逃さず、速やかに日朝首脳会談を開催し、日朝間で北朝鮮の CVID はもとより、拉致被害者全員の救出による全面解決を実現することを求める。

以上